

# 下水道工事施工管理要領

平成 20 年度制定  
平成 21 年度改訂  
平成 22 年度改訂  
平成 25 年度改訂

東 広 島 市



## 目 次

|                 |  |
|-----------------|--|
| 施工計画書作成         |  |
| 施工管理基準          |  |
| 工事写真撮影          |  |
| 地盤改良工           |  |
| 推進工             |  |
| 保安施設設置          |  |
| 家屋調査            |  |
| 事故防止対策          |  |
| -1 地下埋設物事故防止対策  |  |
| -2 土砂崩壊事故防止対策   |  |
| 完成図作成           |  |
| 図面作成要領(図面・数量連動) |  |
| 建設工事様式集         |  |
| II 建設工事関係書類作成要領 |  |



# 施工計画書作成



## 1 はじめに

- (1) 受注業者は、施工計画書を契約の後30日以内に提出し、着手すること。
- (2) 受注業者は施工計画書を分割提出するときは、監督職員の上承を得ること。
- (3) 当初の記載事項に変更及び追加が生じた場合、すみやかに変更施工計画書を提出すること。

## 2 施工計画書の作成要領

- (1) 施工計画書は、この要領に準拠して作成すること。
- (2) 様式はA4判縦とし、縮尺、寸法を明記し、縮図のうえ製本すること。

| 作成の要領  |  |
|--------|--|
| 表紙及び目次 | 1) 表紙<br>工事件名、請負会社名、現場代理人及び主任（監理）技術者氏名印、提出年月日、分冊番号<br>2) 目次<br>分割提出の項目あるときは、その旨を提出予定時期、分冊番号とともに記載すること。   |
| 工事概要   | 1) 工事名、工事場所、工期、請負金額、発注者、受注業者<br>2) 工事内容（工種、数量、仕様）、工事目的<br>3) 現場位置図（工事範囲を着色）、発注図面（参考図など施工に関する図面すべて）   |
| 計画工程表  | 1) 実施工程表<br>2) 施工口数と順序<br>・複数の施工班が入る場合は、施工口数と順序を記載すること。<br>・平面図に着色し、着工予定日、完了予定日を記載すること。<br>・開削2班の場合は、A班とB班が施工する範囲を記載し、着工予定日と完了予定日等を記載すること。<br>・開削班と推進班に分かれる場合は、それぞれに着工予定日と完了予定日を記載すること。<br>3) 労務計画<br>実施工程表に基づき、職種別に予定員数を記載すること。<br>本要領の「 施工管理基準」を参照のこと。 |
| 現場組織表  | 1) 現場組織<br>現場代理人、主任技術者、監理技術者、専門技術者、事務担当者、渉外担当者、現場担当者、安全管理者、保安責任者、有資格者等選任一覧表（資格証写し）<br>2) 施工体系図<br>3) 施工体制台帳（技術者台帳）（下請け総額3千万円以上）  |
| 指定機械   | 1) 指定機械の使用計画（使用機械一覧表、工程表）<br>使用機械毎の用途、形式、規格、数量、性能等   |

| 作成の要領        |  |
|--------------|--|
| 主要機械<br>(船舶) | 1) 主要機械(船舶)の使用計画(使用機械一覧表、工程表)<br>使用機械毎の用途、形式、規格、数量、性能等   |
| 主要資材         | 1) 使用材料の搬入計画(仮設用と本工事に用いるに区別する)<br>使用材料毎の用途、規格、計画数量(割増後) 調達先(製造先)等  |
| 施工方法         | 1) 作業フロー(着手から完了まで記載)<br>2) 各種調査<br>下記の項目について報告書を作成し影響及び支障物件の種類、規模を把握のうえ防護方法を記載すること。<br>ア) 地域の環境、土質、地下水の状況、測量の方法<br>イ) 地下埋設物、地上構造物、家屋等の実態調査方法<br>ウ) 試掘調査の方法<br>「試掘計画書」として分割提出が一般的<br>I) 既設境界杭設置状況<br><br>本要領の「家屋調査」・「地下埋設物事故防止対策」を参照のこと。<br><br>3) 仮設計画<br>ア) 構築物、仮設物の施工、完成、維持又はこれに関連する施設、装置を記載すること。<br>イ) 任意仮設構造物(山留、覆工板、支保工、仮排水等)については、それぞれの項目についての根拠(応力計算書、水理計算書)を添付すること。<br>4) 工種別施工方法(管布設工、マンホール設置工、取付管工、立坑工、仮設工、付帯工等)<br>場所、工法、使用機械等を図示説明すること。<br><br>地盤改良工については、本要領の「地盤改良工」を参照のこと。<br>5) 残土、産業廃棄物の処分方法及び運搬経路、場所(契約書、許可書の写しを添付)<br>残土及び埋戻し土は、現場内及び公共工事間の流用を最優先すること。 |
| 施工管理計画       | 1) 工程管理 施工段階上での工程管理方法<br>2) 品質管理 品質の測定試験項目、規格値、試験基準、対比方法<br>3) 出来形管理 出来形の実測方法、規格値、測定基準、測定箇所、対比方法<br>4) 写真管理 撮影基準、整理方法、写真撮影箇所及び内容、撮影頻度<br><br>本要領の「施工管理基準」・「工事写真撮影」・「地盤改良工」を参照のこと。  |
| 安全管理         | 1) 安全管理計画<br>工種別安全管理計画、安全衛生活動(会社、現場)<br>2) 各種工事において予想される災害とその安全対策<br>3) 安全衛生組織表  |

| 作成の要領        |  |
|--------------|--|
| 段階確認に関する事項   | 1) 段階確認の時期および場所を明記すること。  |
| 緊急時の体制及び対応   | 1) 災害時等の情報収集体制、防災体制を確立し、緊急時連絡先とともに明記すること。  |
| 交通管理         | 1) 工事中における保安施設、保安要員の配置状況、迂回路・歩行者通路設置状況<br>2) 資材及び機械等の輸送に伴う公道の交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送方法、輸送担当者<br>その他安全輸送上必要な事項<br>3) 休業中（夜間も含む）における対策等を図示説明<br>4) 道路使用許可書写し |
| 環境対策         | 本要領の「保安施設設置」を参照のこと。<br>1) 騒音、振動、地盤沈下、地下水、粉塵、危険物、劇物等に対する措置<br>2) 仮設駐車場、残土仮置場、重機駐車場の設置状況（位置図に着色）<br>3) 工事現場から発生する排水処理対策<br>4) 地元対策（地元住民の説明方法等）           |
| 現場作業環境の整備    | 1) 現場事務所、監督員事務所、労務者宿舍、材料置場倉庫等の設置状況、消火設備状況  |
| イメージアップの実施活動 | 1) イメージアップ実施状況   |
| 安全・訓練の活動計画   | 1) 安全教育訓練等の実施事項及び時期  |
| 再生資源の利用の促進   | 1) 再生資源利用計画書（再生資源に関する省令に規定する建設資材を一定量以上、工事現場に搬入する工事）<br>2) 再生資源利用促進計画書（指定副産物に関する省令に規定する指定副産物を一定量以上、工事現場から搬出する工事）  |
| その他          | 1) 作業休止日及び休日作業の実施方法（休日作業届）<br>2) 地元配布資料（下水道工事のお知らせ、最終ますの設置について、家屋等の調査のお知らせなど）、配布時期<br>3) 社内検査体制、検査項目<br>4) 工事書類提出一覧表（書類内容、提出時期、チェックリスト）<br>5) 中間検査時期   |

当施工計画書は、開削工法と薬液注工の施工計画例である。



**【目的物である管種・管材の分類について】**

下水管渠の目的（役割）は、汚水（雨水）を所定の条件により流下させるものである。よって、目的物を分類するならば、流下能力（流速）による分類となる。

**（１）分類**

硬質塩化ビニル管（K-1）  
強化プラスチック複合管（K-2）  
推進工法用硬質塩化ビニル管（K-6）  
レジンコンクリート管（K-11）  
推進工法用レジンコンクリート管（K-12）  
リップ付き硬質塩化ビニル管（K-13）  
レコサル（下水道用資器材 類） など

**（２）分類**

鉄筋コンクリート管(A-1)  
推進工法用鉄筋コンクリート管（A-2）  
小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管(A-5) など

管種および管径を決定する際には、通水能力、流速（粗度係数）、維持管理性（耐食性）を考慮し決定する。（管径を任意に変更することは、原則あり得ない。）